

## 令和6年度使用小学校用教科書 採択理由

種目	採択した発行者	採 択 理 由
国語	光村図書出版	どの領域でも対話的で深い学びにつながるような工夫がみられる。また、導入から子どもに問いをもたせ、学習の見通しが持ちやすく、主体的に学べるように工夫されている。「言葉の宝箱」や思考ツールの活用等子どもたちが読む学習や書く学習に取り組む際、丁寧に手引きできるようになっている。
書写	光村図書出版	当学年の学習ポイントを焦点化し、視覚的にも見やすい「たいせつ」が位置づいていることで、文字を整えて書くためのポイントがわかりやすい。お手本に2次元コードが多くついており、2方向から字形と筆使いのポイントが確認できる。鉛筆や筆使いを、動きにオノマトペの音をつけ、統一したキャラクターで分かりやすく示している。
社会	日本文教出版	単元構成は単元全体の学習問題、1時間ごとに解決したい問題、調べたいことが例示されており、社会的事象に興味を持ち、主体的に学習できる構成となっている。また、社会的事象の「見方・考え方」が示されており、何に注目して考えるとよいか分かりやすい。地域素材として福宗清掃センターが扱われたり、自然災害の単元では由布市がかつて経験した水害が扱われたりする等、学習内容を身近に感じながら進めることが期待できる。
地図	帝国書院	土地の高低差の色分け、色の濃淡が工夫されており、立体的にとらえやすく、また、地名などの文字もわかりやすい。地図の学習における基本的な事項の確認と定着を図るコーナーが充実している。統計資料は、新しいデータを使用し、環境問題に関する情報も記載される等、子どもたちが扱う資料として細やかな配慮がある。
算数	教育出版	学習の展開が新大分スタンダードに沿った形で、子どもの意欲を高め、基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫が多い。式から図へ、図から式へ、式から言葉など表現を読み替えさせたり、考えを説明させたりして、思考・判断力を育てる手立てや工夫が多くあり、対話の場面を適切に仕組んでいる。
理科	大日本図書	学んだことが日常生活でどのように活用されているか、理科の有用性が実感できる問題や資料が豊富に準備されている。ダイナミックな写真・構図や1人1台端末を活用し、学習の各場面に沿ったコンテンツがページごとに掲載されたりするなど、児童の興味・関心を惹きつけるとともに、より深い学びへと導くための多くの工夫点が見られる。
生活	東京書籍	幼児教育と小学校教育をつなぐ「スタートカリキュラム」のページがより充実して、小学校生活へスムーズに馴染み、希望を持って学習ができる構成になっている。多様な学習活動や表現活動が例示され、児童の考えるヒントがちりばめられているため「思考・判断・表現力」の育成に役立つ。保・幼・子ども園・小連携の必要性がますます高まる由布市の教育に順応した内容になっている。
音楽	教育芸術社	題材のねらいと学習活動が分かりやすく示されており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。器楽における技能の確実な習得のために、リコーダーの穴番号が表記され、児童のリコーダーの理解に有効であり、またその後の指導にも効果的である。
図画工作	開隆堂出版	1年間の学習内容が見開きページで掲載されており、見通しをもって学習することができる。観点別のキャラクターを使うことによって、子どもたちは、めあてを明確にもって取り組むことができる。自然の素材を使った活動がたくさん掲載されており、自然の中で遊ぶ経験が少ない子どもたちにとって、積極的に自然と関わろうとする思いを持つきっかけになると考えられる。

家庭	開隆堂出版	2年間の題材配列が学年や発達段階に応じた反復学習になっており、5年生で学んだことが6年生の学習に生かされることで理解の深まりを期待できる。また、児童自ら自分の生活を振り返って課題意識を持ち、学習に取り組めるような課題解決的な学習展開が多くなされている。多様性に配慮したイラストや、技能面をわかりやすく説明したりする写真などが多く使われている。
保健	学研教育みらい	自然災害や防災教育、犯罪の防止について詳しい記述があり、安全・防災教育に優れ、胸骨圧迫に関しても具体的な記述がある。他教科との関連に加えて、中学校での学習内容の関連も記載されており、小中連携の視点から見通しをもって学習に臨める。早寝早起き朝ごはん・タブレット使用に関して・新型コロナウイルス感染症・いじめ等の記述が、子どもたちの生活面にも活用できる。
外国語	東京書籍	子どもにとって、興味・関心をもって取り組むことができる内容が多く扱われており、更に視野を世界へと広げていくことができる構成により、深い学びへと繋げることができる。書く活動が各ページに豊富に設定されて、デジタルテキストでたくさんの動画が視聴でき等多くの工夫がされており、児童が主体的に学びを進めるためのツールとなることが期待される。
道徳	光文書院	中心発問や深める発問、振り返りなどが示されており、教員が見通しをもって授業を展開することで「考え、議論する」道徳授業を目指すことができる。由布市の子どもにとってなじみの深い題材が取り上げられていることにより、興味・関心をも 授業に取り組める。年間35時間分の教材に加え、5本の選択教材が用意されていることで、学校の重点目標や学級の実態、家庭・地域の願いに応じた授業が展開される。